魔法少女まどか☆マギカスピンオフ版読んでくださりまことにありがとうございます。
本編コミカライズ①巻カバー下のネタがなんと実現してしまいました。
マギカカルテット様ありがとうございます!
マミさんヤッター!!
巴マミ(+佐倉杏子)主人公!
BD特典ドラマCD『フェアウェル・ストーリー』のシナリオをお借りして、1本スピンオフ作りましょうという事で描かせていただいております。
ベテランじゃないうえにお菓子食べ歩かない佐倉さんが描いていて新鮮でした
ティロ・・・ッ!
ド
ロッソ
ファンタズマ――ッ
(技名叫ばせなくてすいません…)
ビジュアルもろもろアニメ準拠に一新だよ!!!
なぜかってずっと描きたかったからですあとなにかと都合よいからです

黄色いのと赤いのがメインだという事はわかったわ

待機組

バリバリ

どーかしたの転校生?

ここで私からの提案なのだけど

より幅広いファン層に親しんでもらう為、2巻以降のカバー裏は私とまどかのハートフルコメディ劇場を展開するのはどうかしら

ガチャ

ただいままどか

おかえりほむらちゃん!まじょたいじおつかれさま!

ラァアアアー

お風呂にする?ごはんにする?

そ…それとも…

まどかよ

際どいネタやめなよ

一応青年誌だけど夢ある魔法少女ものなんだぞ

主人公はマミと杏子の二人ですが、2巻以降はみんな活躍させたいです!

スピンオフらしく本編とはまた違った組み合わせで描けたらよいと思っております

2巻も宜しくお願いいたします。

©Magica Quartet / Aniplex・Madoka Partners・MBS
魔法少女まどか☆マギカ
PUELLA MAGI MADOKA MAGICA
上
~The different story~
漫画＝ハノカゲ
原案＝Magica Quartet

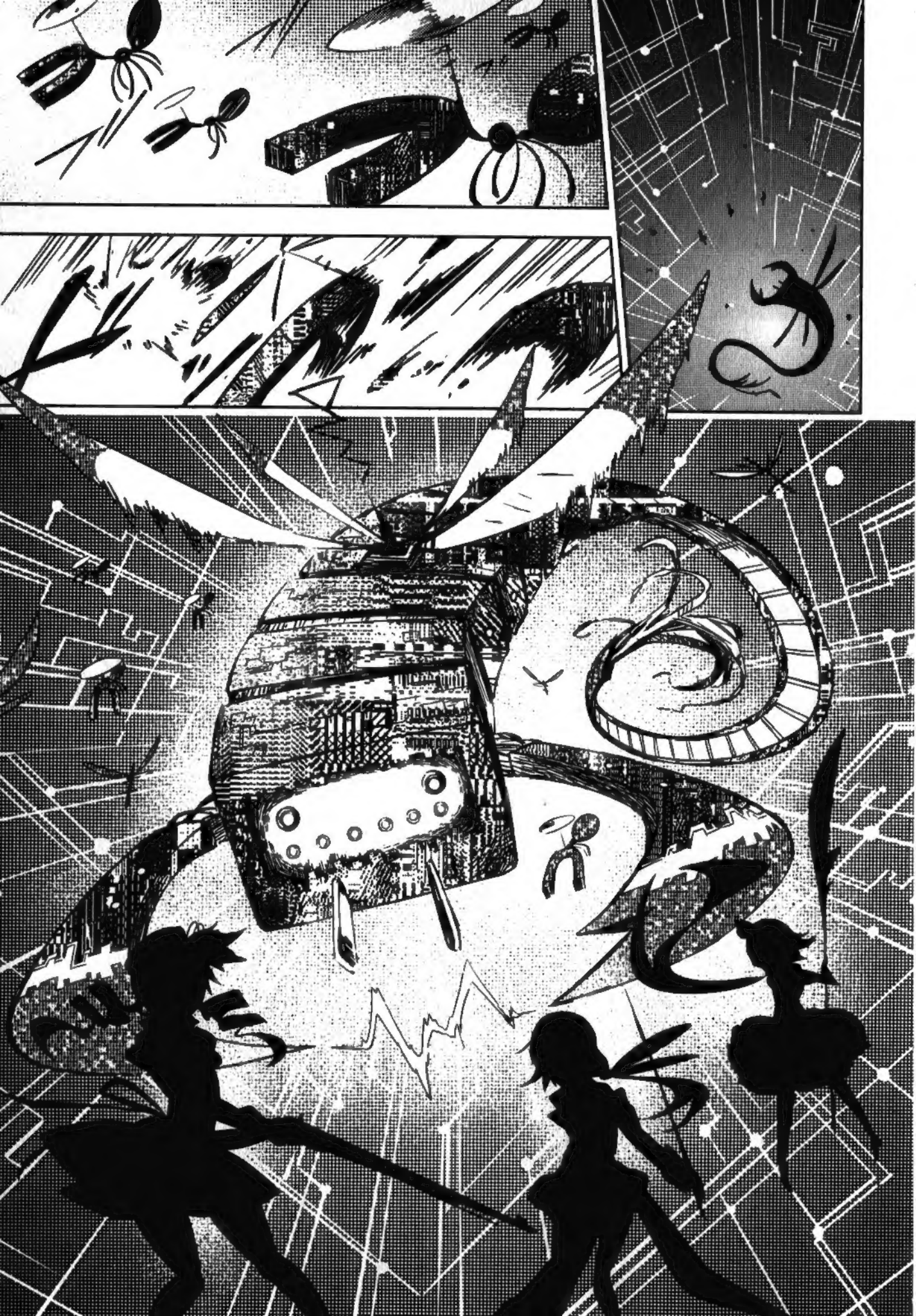
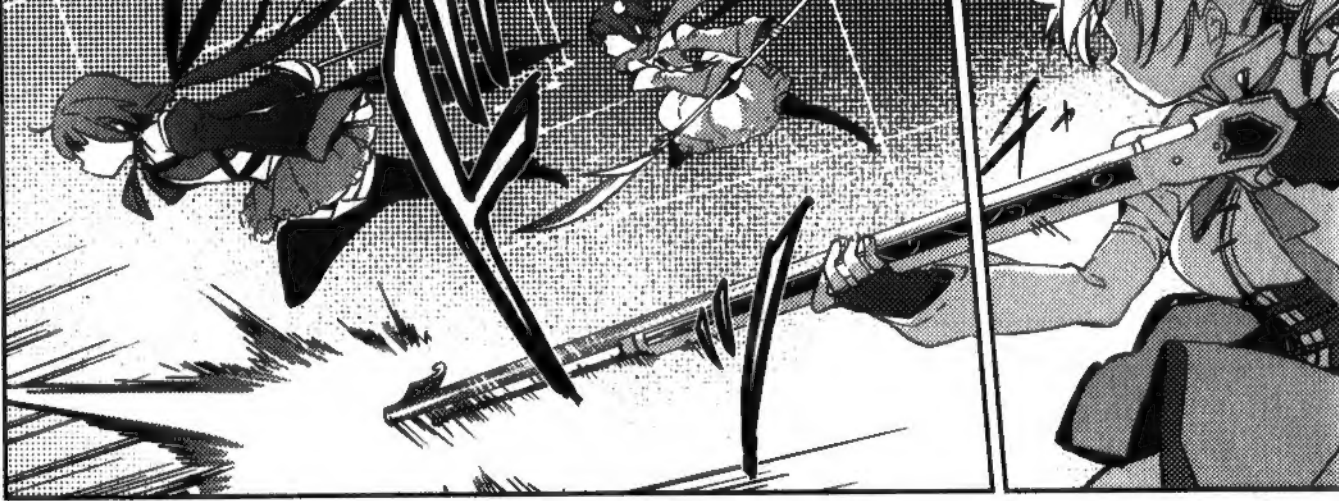
PUELLA MAGI MADOKA MAGICA

【ザ·ディファレント·ストーリー】

~The different story~

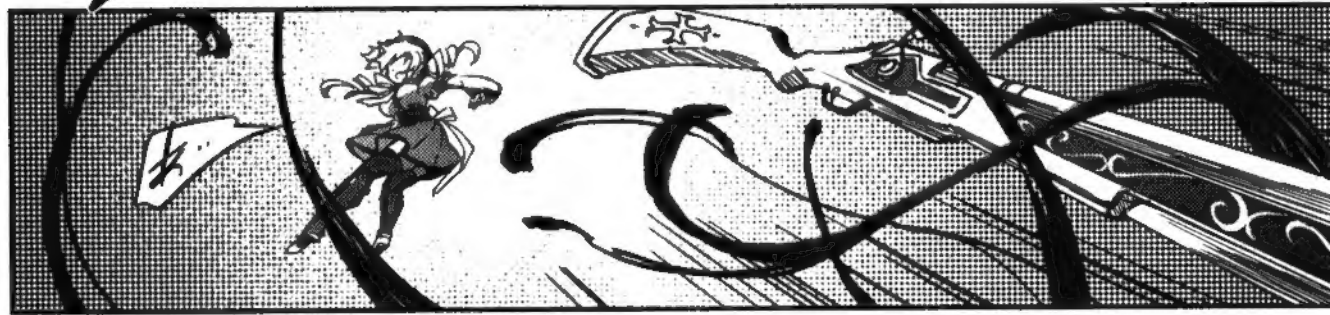
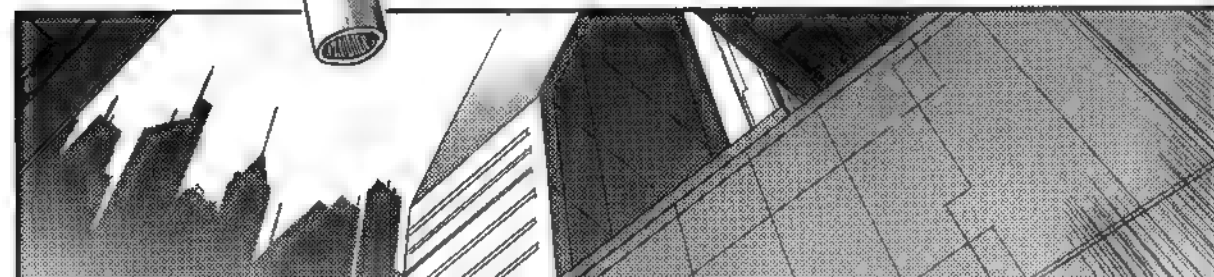
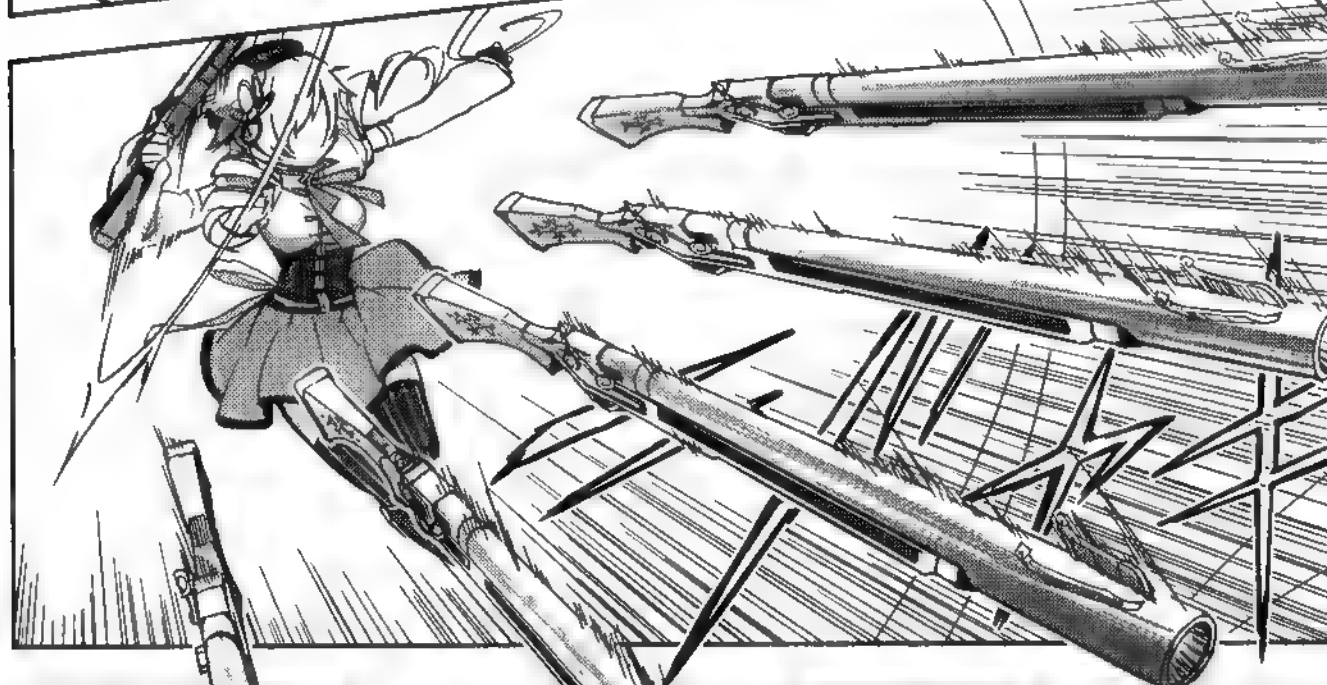
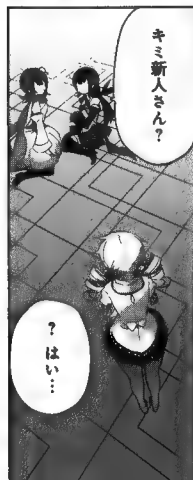
上

(EPISODE) (PAGE)

ん？…

いたた…
やっぱり
駄目だよ姉さん
諦めた方が
いいって！
そこの
魔法少女さん！
ごめんなさい、
助けに来てもらって
悪いんだけど
私達
撤退するね…！
えっ⁉

キミもやばかったら逃げた方がいいよ！
あの…
わっ!?

街の人々を守るためにも…
私がここで逃げ出すわけにはいかないんだから－！

あれっ
すごーい
魔女倒せたんだ！

逃げ出しちゃって
ごめんね
私達も命は
惜しいからさー
あーあ
魔力使って
損したわ
今回は
仕方ないよ
え、ええ…
あなた達も無事で
よかったです
あの…
これ、
あなた達も
使ってください
一緒に
戦った魔女の
ものですし
キミ新人さん？
？ はい…

それはあなたの
手柄なんだから
他の人に譲る必要
ないんだよ？
そういうの
やめといた方が
いいよー？
うんうん
命掛けて手に入れた
ものなんだから
大事にしないと
私達だって
善意で戦ってるって
わけじゃないんだし
魔法少女
同士はみんな
ライバルみたいな
ものだから
そ、そうですか…
誰彼構わず
親切にしてると
いつか利用されて
足元すくわれ
ちゃうかもよ？

まーこれからも気をつけることだね
あんまり無茶しないで自分の命大事にね

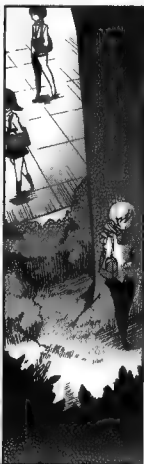
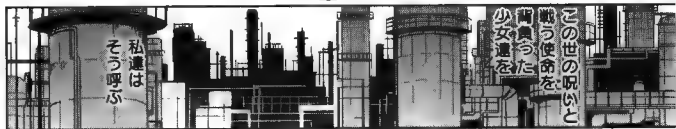
よーし次は絶対グリーフシード手に入れる！
また魔女と間違えて使い魔に挑まないでね
あはは
……あ…

魔法少女まどか☆マギカ
PUELLA MAGI MADOKA MAGICA
～The different story～
第1話

一年後
巴さーん
今日さ、みんなでショッピングモールで買い物しよう！って決めたんだけど
どうかなー？
たまには一緒に行こうよー
うーん ごめんね 用事があって…
そっかー…
一人暮らしなんだもんね 色々大変だよね
ん

また巴ちゃんの家行きたいなー！ケーキすごく美味しいからさー
行くぞ
またあんたは…
ふふっ
ありがとう
折角誘ってくれたのにごめんね
ス
…さて
—魔法少女

そうして今日も私は人知れず

魔女と戦い続けている

結界が
歪んでる
誰か
いるの…？
相も変わらず
なんてバカ力な
ヤツ！

だけど
今回は
いつぞやの
二の舞には
ならないよ！

残念、そっちは
ニセモノさ！

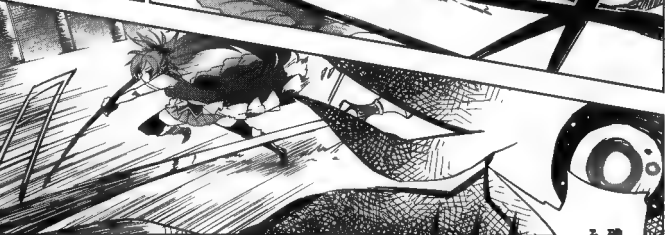
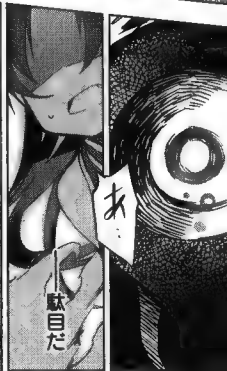
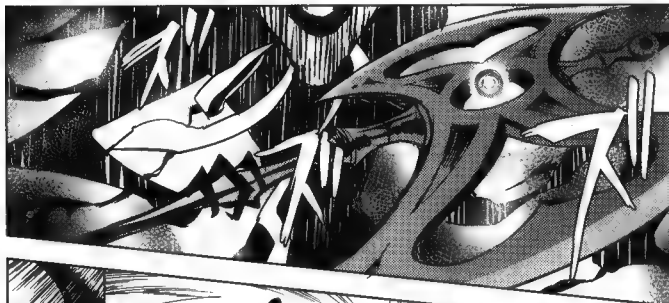
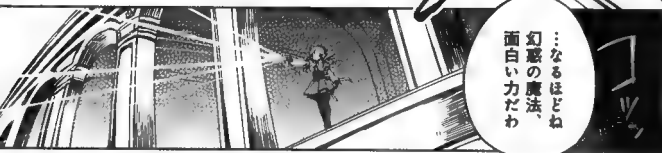
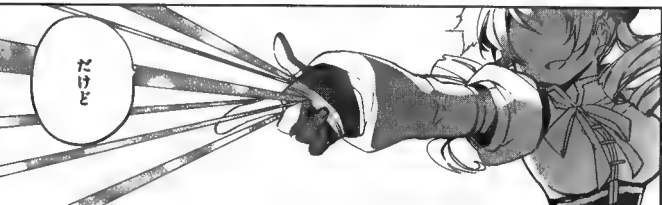
ガッ
ラ
…よし！
やっと
リベンジ
果たせたね
キュウべえ
ヒ
！
杏子！
フォオオオ
まだだ！

うわ…ッ!?

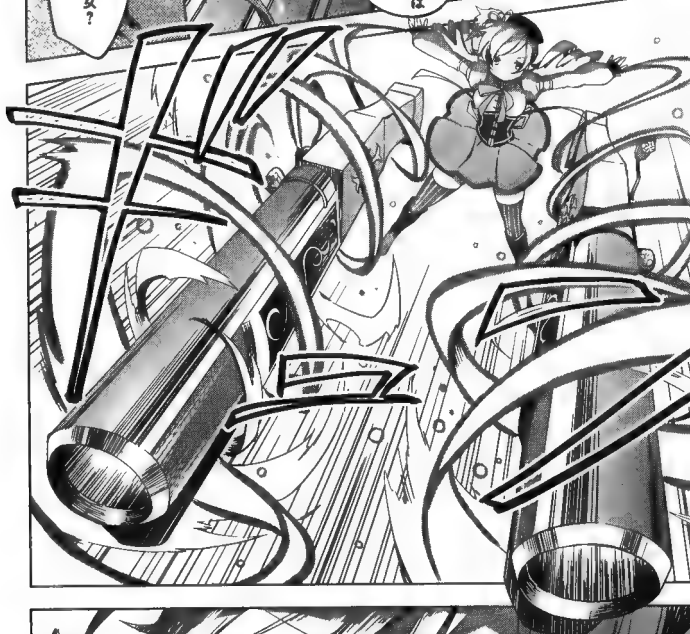
ズ
ズ
ズ

あ…

駄目だ

このままじゃ

あたし――
?
…なるほどね
幻惑の魔法、
面白い力だわ
コツッ
だけど

!?
魔女の方も同じ能力だったのはちょっとツイてなかったわね
魔法少女？

ティロ・フィナーレ！
間に合って
よかったわ

大丈夫？
…あ、その…
助かったよ
あんたは…？
挨拶は後よ
今は魔女を
倒さなくちゃ
あの魔女
本体はおそらく
斧の方ね
え？
だから身体の方を
倒しても復活して
しまうみたい

私は魔女の身体と使い魔を一掃するわ

その隙にあなたは本体を破壊してくれる？

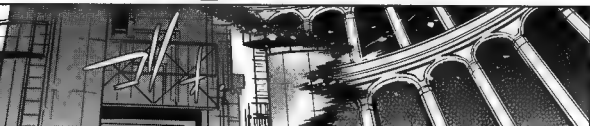
……

わかった！

今よ！

はぁあああッ

や……
やった!
お見事ね!

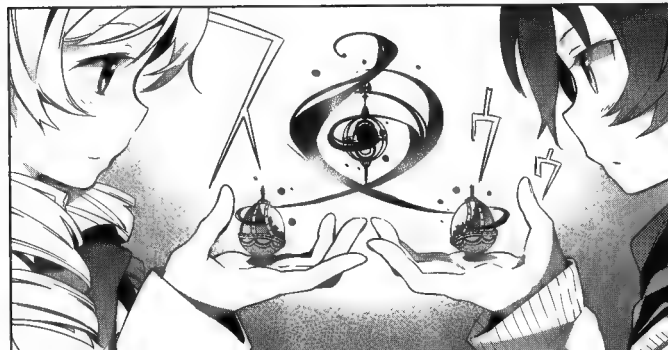
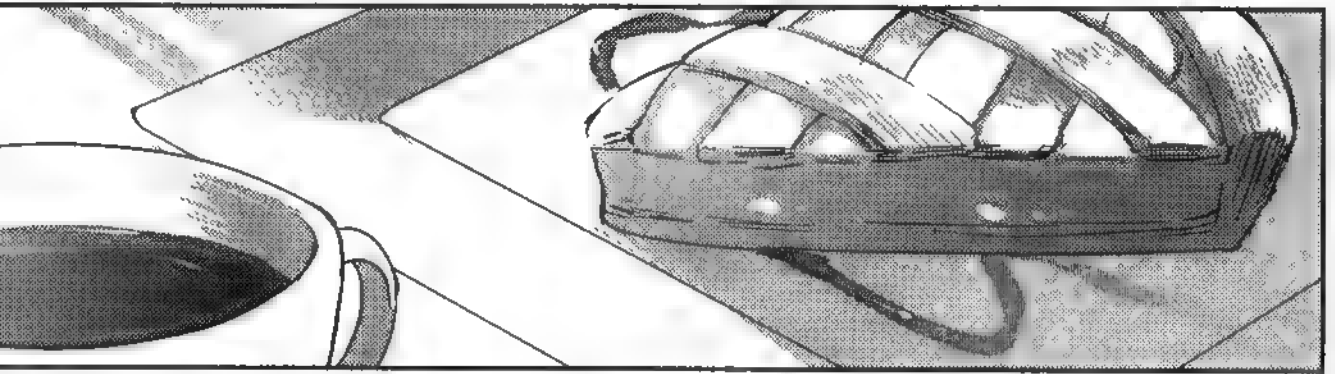
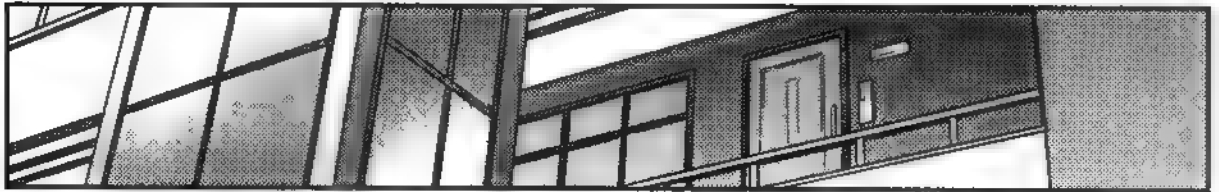
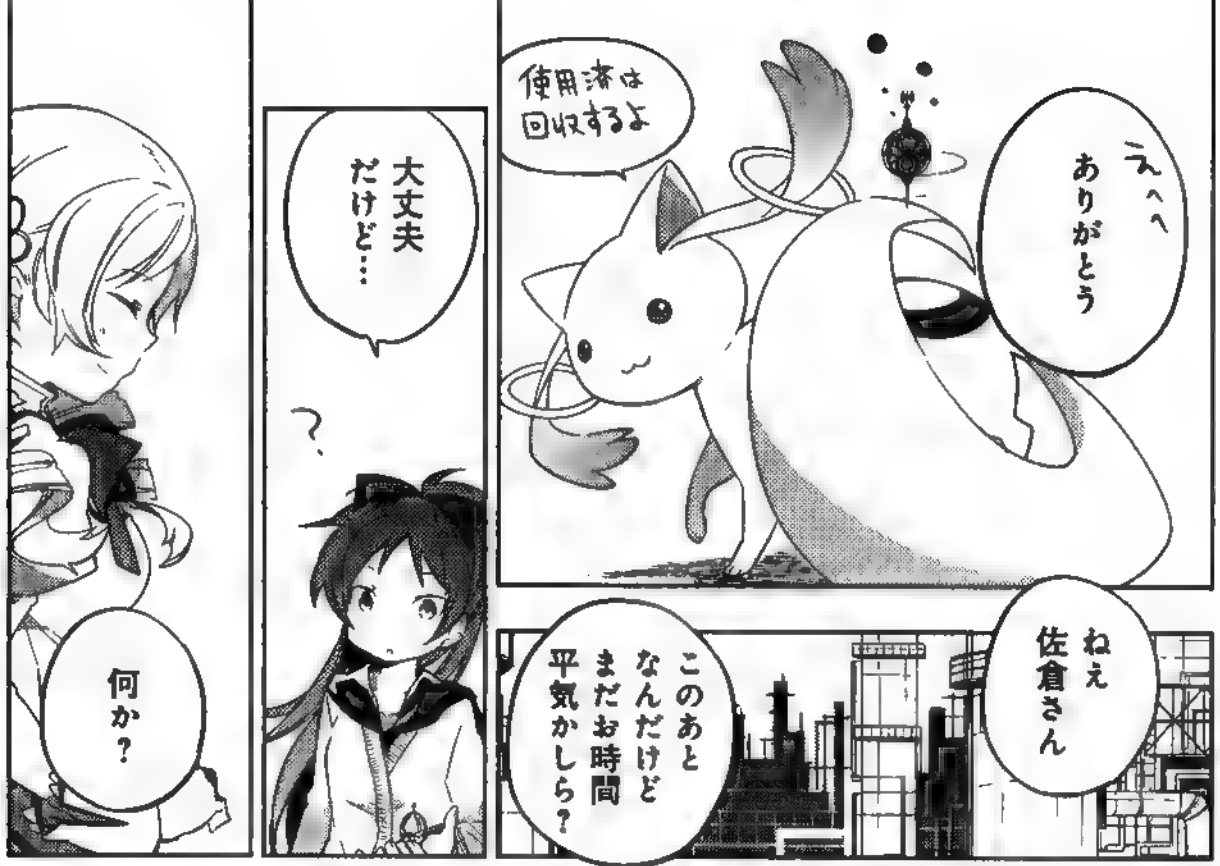
──改めまして
私は巴マミ 見滝原市の魔法少女よ
あなたは？
あたしは佐倉杏子 隣町の風見野で魔法少女やってるんだ
さっきは本当に助かったよ あんたが来てくれなきゃやられてたね…
どういたしまして
ところで佐倉さんはどうして見滝原に？
あー…

さっきの魔女を
追いかけてきたんだ

あの魔女、あたしが
魔法少女になって
初めて戦った相手でさ
一度ヘマして
逃げられ
ちゃったんだ

自分の縄張りから
踏み出すのは
行儀が悪いと
思ったんだけど
どうしても
落とし前
つけたかった
からさ…
……そう……

結局あんたに迷惑
かけちゃったよね
いいのよ
大事なのは
一人でも多くの
人々の命を守ること
なんだもの
魔法少女同士で
縄張り争いなんて
本当ならすべきでは
ないんだわ

…それじゃあ お陰で魔女も 倒せたし あたしは…
待って
あなたも魔力を消耗したでしょう？
ソウルジェムの濁りを浄化しておかないと

えへへ
ありがとう
使用済は
回収するよ
大丈夫
だけど…
何か？
ねえ
佐倉さん
このあと
なんだけど
まだお時間
平気かしら？
どうぞ
召し上がって？
ぱあぁ

ちょー
おいしい！
特製の
ピーチパイよ
焼き上がるまで
お待たせ
しちゃって
ごめんね
まだまだあるから
遠慮しないでね
一人じゃ
食べ切れないから
…あ
えっと…
助けてもらった上に
ケーキまでご馳走に
なっちゃって
なんだか
図々しいよね
あたしって
招待したのは
こっちなんだし
気にしないで
私も魔法少女の子と
一緒にお茶できて
とっても楽しいもの
ならいいん
だけど…
でもあたしの
方こそ
今日は
マミさんと
会えて
よかったな

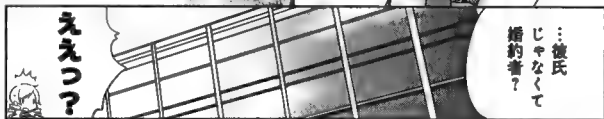
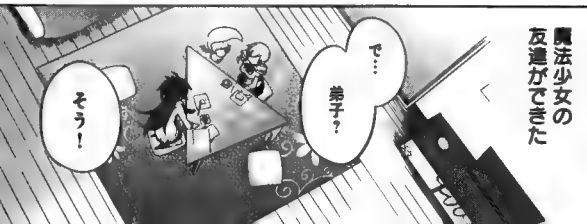
あたし魔法少女としてはまだ半人前だからさ
お茶しながら色んな話聞かせてもらって勉強になったよ
何も考えずにただ闇雲に戦ってたあたしに比べてマミさんは
これまでの魔女との戦いを自己分析してノートにまとめたり
魔法の使い方を研究したり…
その上戦いに必要な心構えもしっかり持ってて

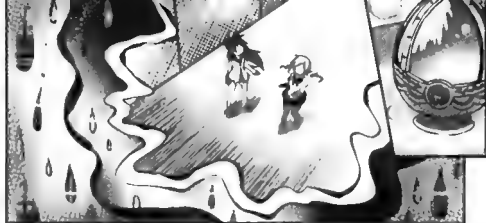
マミさんの弟子にしてもらえないかな？

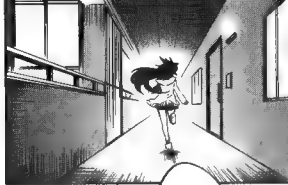
過去編杏子。
アニメ版過去回想よりも
成長しているイメージ。

巴さんってば
今日一日中
浮かれてたよね
いいことでも
あった？
第2話
授業中でも
ぼやーっと
しちゃってさ
さては
…そ、
そうだった？
彼氏でも
できた？
へ？

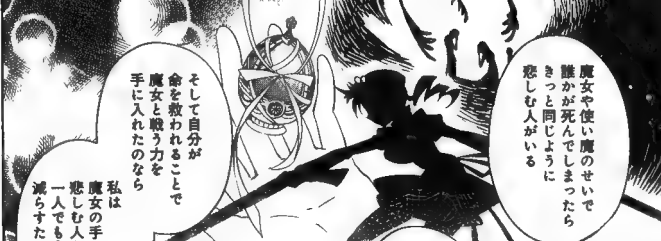
なになに？
巴さんに彼氏ー？
あやしい…
ち、ちがうのよ！
その
友達が、できて…
それは
私達が友達じゃないっていう…
えっ!?
ううん！そうじゃなくて！
…なんていうのかな
普通の友達とは少し違うのかも
ある意味
お互いに友達以上の信頼がないと
成り立たないものだと思うの

まだ知り合ったばかりだしそうなれるかはわからないけど
安心して命を預けられるような仲になれたらいいなって…
?
…彼氏じゃなくて婚約者?
ええつ?
魔法少女の私に
魔法少女の友達ができた
で…弟子?
そう!

マミさんは
どこをとっても
あたしの理想
なんだ
だから
迷惑じゃ
なかったらって…
駄目かな?
……その
弟子って
いうのとは
違うかも
しれないけど
ずっと前から
私も
魔法少女の友達が
いてくれたらなって
実は
思ってたの
それって…
ええ

私にできることなら
魔法少女の先輩としてアドバイスさせてもらうわ
ありがとうマミさん!

それじゃ今日はありがとうまたご馳走になっちゃったね
ええ気をつけてね
佐倉さん
これからも見滝原に来てくれる？いつでも歓迎するわ
あたし邪魔じゃなかった？
むしろ助かったわ
今日の戦いぶりとっても頼もしかったわよ
そっか…！
うん！あたしの方こそ
これからもよろしくお願いします！
マミ先輩！

せ…
先輩…
かぁ
そうだよね
私の初めての
後輩なんだよね
照れるかも
魔法少女に
なってからは
戦いばかりの
毎日で
部活動とは
縁がなかった
けれど
…うん
こういうのも
悪くないのかも
あの子の必殺技
どんな名前が
いいと思う？

それにしてもマミさんの魔女探索は効率いいよね
一人だった時はこんなに早く探し当てられなかったよ
世の中の原因不明の自殺や殺人事件の多くが魔女の呪いによるものよ
裏をかえせば
魔女が人間の負の心を好むということだと思うの
人が集まり心が交錯する場所のすぐそばにこそ闇があるんじゃないかしら
そういう場所を重点的に探しているんだね

人間社会への
影響や
被害を未然に
防ぐためにも
魔女の早期発見は
とても重要なのよ
……
ねえ
マミさんは
いつ頃から
魔法少女
やってるの？
どうして？
なんとなく
気になってさ
一人前の魔法少女として
マミさんほどの知識と技術を
得るまでには
相当の時間と努力が
必要なんじゃ
ないかなって
思ったからさ
それに
マミさんを
そう突き動かす
祈りっていうのも
少し気になるなって
あ、
マズい事
聞いちゃった？
…いえ
丁度
いいわ
あなたには
言っておこうと
思ってたし…

契約したのは
一年くらい前よ
キュゥべえと
出会わなかったら…
今頃私は生きて
いなかったでしょうね
私はこの子と
「命を繋ぐ」
契約をしたの
一年前、
私の家族は
酷い交通事故に
遭ってね
咄嗟に契約を
交わすことで
私だけ生き延びたの
両親は結局
助からなくて
とても悲しくて
辛かったけど
戦う運命を背負った
以上、いつまでも
悲しんでは
いられないから
ある時私は
こう思うように
したの

魔女や使い魔のせいで
誰かが死んでしまったら
きっと同じように
悲しむ人がいる
そして自分が
命を救われることで
魔女と戦う力を
手に入れたのなら
私は
魔女の手によって
悲しむ人を
一人でも多く
減らすために
戦い続けるべき
なんじゃないか
…って
そんな想いが
こうして今の私に
繋がってるん
だと思うの
…そうだったんだ
だから今は
佐倉さんが一緒に
戦ってくれて
とても嬉しいわ
今まで私の戦い方を
認めてくれる子は
いなかったから…
…………

マミおねえちゃーん!

ぱあっ

あそんで
あそんで～

こら、モモ！

夕食終わった
ばっかりなんだから
あとにしな！

え～

すみませんね
下の子は
お客様が来ると
いつもはしゃいで
しまうんですよ

賑やかで
とても
楽しいです

ありがとう
ございます
お食事まで
頂いてしまって…

もう…
先に言っておいて
くれれば
もっと豪華な
食事にしたのに

いつもどおりが
よかったの
マミさんだって
来づらく
なっちゃうでしょ

こんなに明るくて楽しい食事は久しぶりで…
本当に感謝してます
喜んでもらえてよかった
実は我が家もお客さんを招いても恥ずかしくないような食卓になったのは
つい最近のことなんだよ
本当ですか？
ああ
私は教会で牧師をしていてね
世の中の幸せのためにと説いてきた私の教えは
長年世間には受け入れてもらえず
家族に辛い思いをさせてしまっていたんだ
ところがある日を境に
私の話を聞いてくれる人が現れ始めたのさ

本当に信じられない光景だったよ
朝、目が覚めたら私の話を聞かせて欲しいと
大勢の人が集まっていたんだ

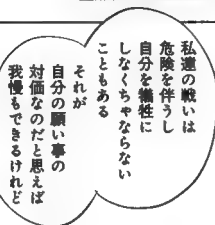
杏子がお友達を連れてくるなんて初めてなんですからね
マミさん杏子とこれからも仲良くしてやってくださいね
あーー
それはナイショだってば

…うん

ただ

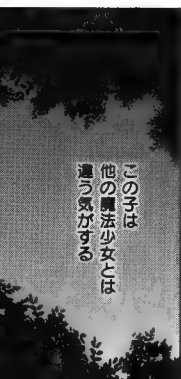
裕福に
なりたいとか
願ったわけじゃ
ないんだ

「父さんの話を
みんなが聞いて
くれますように」

…ってさ

誰一人
父さんの話を
理解するどころか
耳を傾けさえ
しなかったのが
ずっと
悔しくて
あたしには
耐えられ
なかったんだ
…そう
あなたは
お父様の
ために…
他人の願いを
叶えるのって
そんなに
おかしい事？
ううん
ただ
私はね
その願いごとが
同時に
自分の願いを叶えて
くれるものだったら
もっと素敵だなって
思うだけ
私達の戦いは
危険を伴うし
自分を犠牲に
しなくちゃならない
こともある
それが
自分の願い事の
対価なのだと思えば
我慢もできるけれど
そうでないと
したら……

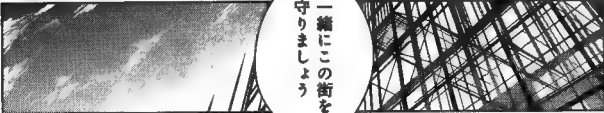
だったら あたしは 大丈夫だね
みんなの 幸せの為に 頑張ってる 父さんを
小さい頃から ずっと見てて
その実現の 第一歩が
あたしもみんなに 幸せになって もらいたいと 思ってた
父さんを 幸せにすること だったんじゃ ないかな
うん、そうだよ

「みんなの幸せを守る」
それがあたしの願いなんだ
そう……
あなたなら大丈夫よね
これであたしとマミさん戦う理由は同じだよね？
えっ？
改めてこれからもよろしく！
…ええ

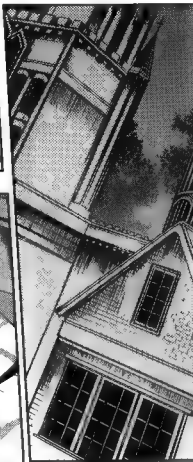
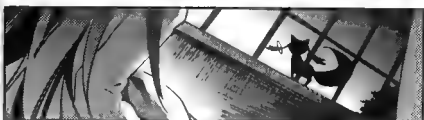
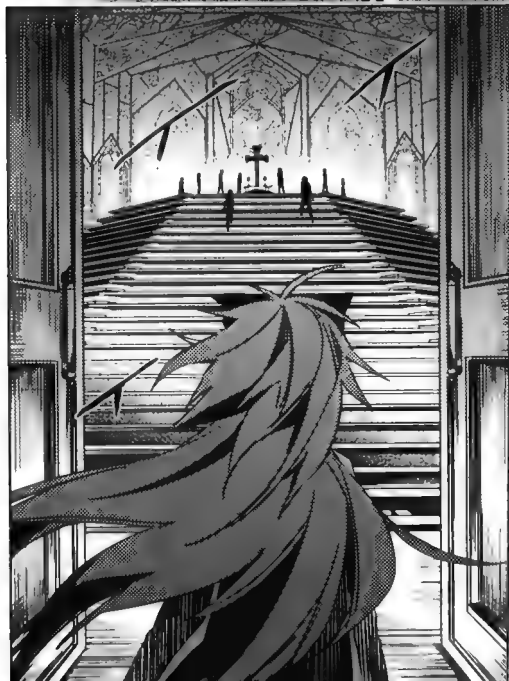
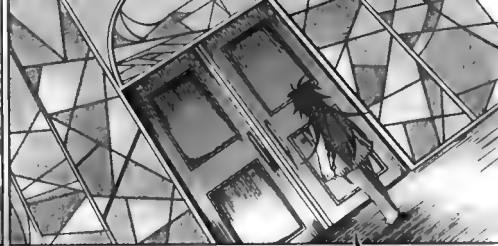
ソウルジェムが反応した？
マミ、杏子！
グリーフシードを見つけたよ！
魔女が孵化しかけている
急いで向かって！

魔法少女同士で
こんなにも
解り合えるなんて
思わなかった

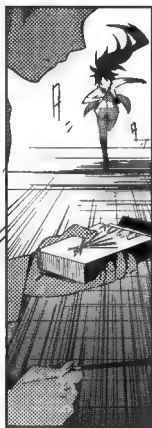
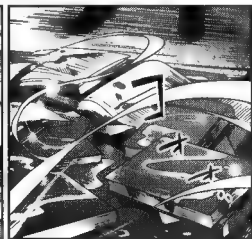
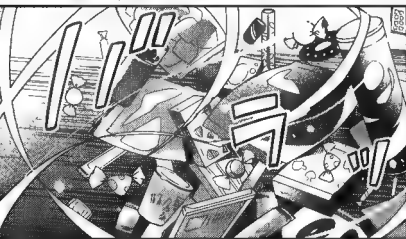
佐倉さんの
必殺技名
『ロッソ・ファンタズマ』
(訳：赤い幽霊)
魔法少女として
人々の為に
戦うと決めた
あの日から
心の奥で密かに
求めていた
理想の仲間に

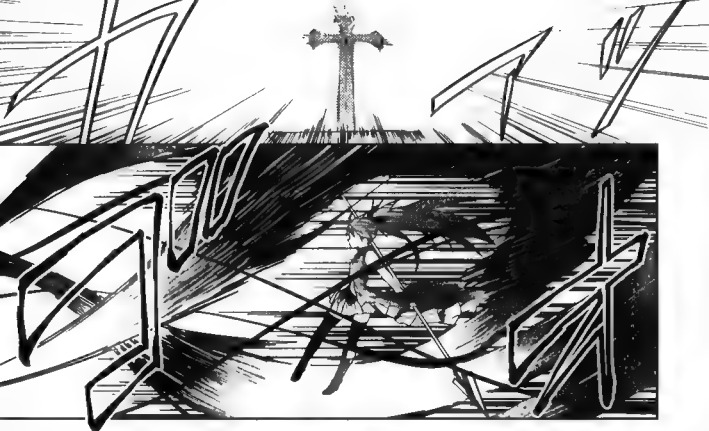
やっと私は
巡り会えたんだ
あたしとマミさんの
コンビだったら
向かうところ
敵なしだよね！
ジャーーン
今のあたし達
ならさ
ワルプルギスの夜だって
倒せるんじゃないかな
もう…
油断は禁物よ？

ワルプルギス…って…あの…?
そう
魔法少女の間で噂されてる超弩級の大物魔女
こう言っちゃ大袈裟かもしれないけど
あたし達だったらそんな大物の魔女だろうと目じゃないって
世界だって救えるんじゃないかって
そう思うんだよね
…ふふふ
随分大きく出たわね
調子に乗り過ぎ?
そんなことないわよ 目標は大きい方がいいんじゃないかしら?
え、
マミさん笑いすぎじゃない?
…でも本当にそうかもね

私達だったら
きっと倒せると
思うわ
もしいつか
本当に
ワルプルギスの夜が
やってくる時が
来たら…
一緒にこの街を
守りましょう

ん…
ウ
ウゥ
…!?
杏子ー！
サ
大変だ！
なに…？
この臭い

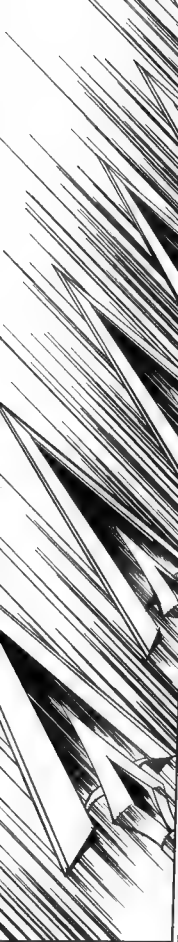
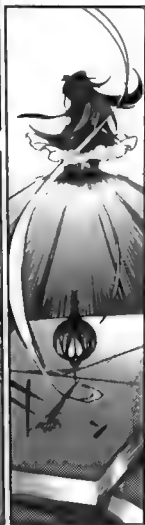
ギ"

ドサ
俺達には
神様の教えなんて
必要なかったんだ
そんなものに
頼らなくても
簡単に幸せに
なれる方法を
知ってるんだから
ドボ
ン
ええ
その通り
ですよ…
な……
なんだよ
あいつら……！
これも魔女の
呪いだ
結界が
侵食を始めてる！

!
教会ごと燃やすつもりだ
させるもんかー

パッ
ヒュン
バラバラ
ゴォォ
パッ
いただき!

覚悟は
出来てるん
だよな？
あたしの父さんの
大切な教会を
ふざけた呪いで
汚しやがって
絶対に
タダじゃ
済まさねえ！

フン
なんだ
わざわざ
そっちから
出向いてくれる
なんて

手間が
省けるよッ！

おっと
なっ…
アイツ
あっ

ヨロ…
随分と食い意地張ったヤツだよね
人間たちを喰い損ねたのがそんなに悔しいかい？
悪いけど
一人たりとも喰わせちゃやれないよ

魔女なんかに
こんな場所で好き放題させてたまるかよ
父さんの教会も
家族も
みんな
あたしの手で守るんだから！

……っ
…厄介なもの残されたな
—大丈夫
夜明けまでは
時間あるんだ
騒ぎに
なる前に…

……杏子？

モモ。
杏子同様
ちょびっと成長させて
いるのでアニメ版とは
髪型変えてます。

まどか☆マギカ
~The different story~

…パパ？

お姉ちゃん？

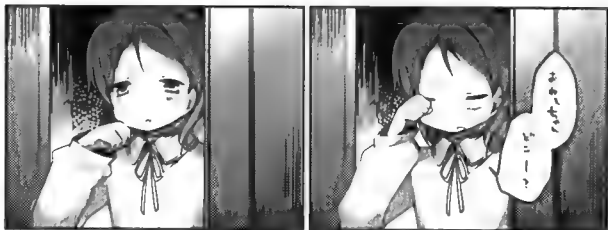
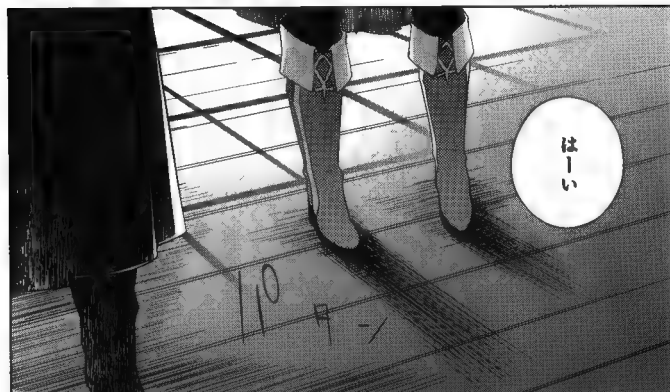
どうしたの？

ん

起こしてしまってすまないね

?

なんでもないんだよ
おまえは寝ていなさい

おやすみ
モモ

第3話

佐倉さん
具合悪いの？

近頃
顔色が優れない
みたいだけど…

そう？

平気だよ

本当？

魔法少女になったのが原因で仲の良かった人と衝突した事ってある？

反対の意味でも
同じことが
言えると思う？

あたし達が
取り憑かれた人の
命を救ったとして
それが必ずしも喜ばれる
結果になるとは
言えないんじゃ
ないのかな

…どういう
こと？

たとえばさ

魔女の呪いで
くるった人が
おかしな行動で
自殺しようと
してるところを

偶然身近な人に
見られてたとしたら
どうなると思う？

魔法少女に
救われて
自殺を免れたと
しても

身近な人は
その人のことを
普段と同じ目で
見てくれるかな

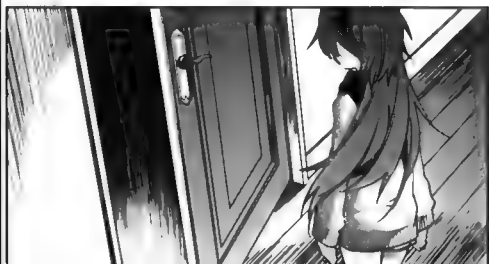
それとも

「アイツは
気のくるった奴だ」
って

好奇の目で
見ることに
なるのかな

もし喜ばれない結果になるんだとしたら
誰にも気付かれず魔女に殺されて悲しまれるのと
気付かれたことで大切な人に避けられながら生き続けるの
どっちがマシなんだろ
結局みんなが嫌な思いをするなら
あたしは最初から人助けなんてするべきじゃなかったのかな
…それは誰かのこと？
……
もしかしてご家族が魔女に……
そうじゃないんだ
たとえ話だよ

…確かに
私達の
していることを
全て正しいと
言い切るのは
無理な事かも
しれないわ
それでも私達が
行動しなければ
より多くの犠牲が
出てしまうの
起こりうる結果を
言い訳にして
初めから
救うべきじゃない
という考えには
同意できないわ
…………
無理だけは
しないでね
私でよければ
いつでも
相談にのるから
……うん…

…ただいま

お酒
また
増えてる
身体
壊しちゃうよ

……聞いて
父さん
今日もね
あたしは魔女を
倒したんだよ
自殺しそうに
なってた人を
一人救ったんだ

父さんが
なくしたかった
世の中の不幸や
悲しみの芽を
あたし達
魔法少女は
着実に
摘んでるんだ

これってさ
悪いことじゃ
ないよね？

あたしはね
父さんの話
今でも好きだよ
だからみんなが
父さんに耳を
傾けてくれた時
すごく嬉しかった
なによりさ
世の中の不幸に
悲しみ続けてた
父さんの
幸せそうな顔が
見られたから
あたしは…
全部おまえが
生み出した
幻じゃないか

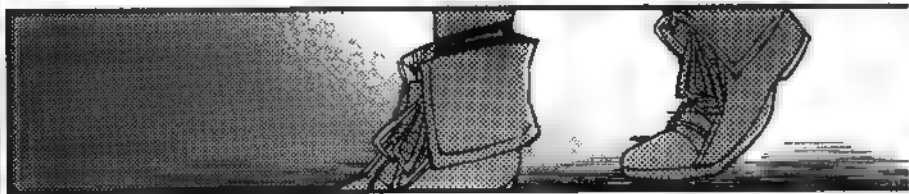
私の下を訪れた
者達はみな
信仰のためなど
ではなく
ただ魔女の
力に惑わされ
惹きつけられた
だけの
哀れな人々だ

そうして
惑わした人々を
お前は手にかける
つもりだったたん
だろう？
あれは
悪魔と交わした
契約の生贄
だったのか？
教会の娘が
あろうことか
悪魔に魂を
売るなどと…
……っ！

だから…ッ！
何度も言ってる
じゃないか！
魔女と魔法少女は
違うんだ！
あたしは誰の
命も奪ったり
なんかしない!!
お願いだから
あたしの話を
信じてよ！
あたしは
魔女なんかじゃ…
…お前は
最初から

なにが違うんだ？

お前の力さえあれば世の中の不幸や苦しみを着実に摘める？
そんな当て付けがましい言い訳を聞かせるくらいなら
いっそ無力な父親だと罵ってしまえばいい！
今のお前がやっていることは何だ？
父親などいなくとも世の中は救えるのだと
信仰を踏みにじり人を惑わし嘲り笑う悪魔の所業ではないか
それすらの自覚もなく嬉々として語るお前の姿を…
魔女と呼ばずに何と呼ぶんだ

ティロ・
フィナーレ！

今日も
佐倉さん来てくれなかったな

…大丈夫よね
佐倉さんは他の子達とは違ったもの…
どうして…解ってくれないの?

人々を襲うのは魔女だけじゃないのよ使い魔だって…

うーん…ちょっと待ってよ

それなら逆に言わせてもらうけど

あなたの言う通りにしたとして 万が一グリーフシードが手に入らなくなったら
あなたのせいにしてもいいの？
使い魔が成長するから魔女が生まれるんだし 多少の犠牲には目をつぶらないと駄目だと思う
魔女だってそうそう簡単に見つかるものじゃ…
一人でも多くの人々を守りたいという気持ちは
確かに立派だと思いますよ
ですが…
…キュゥべえ 私の考えってそんなにおかしい？
僕にはなんとも言えないよ
君のような子は珍しいとは思うけど
…そう
弱気になってちゃ駄目よね 自分で決めたことなんだもの

マミさん!

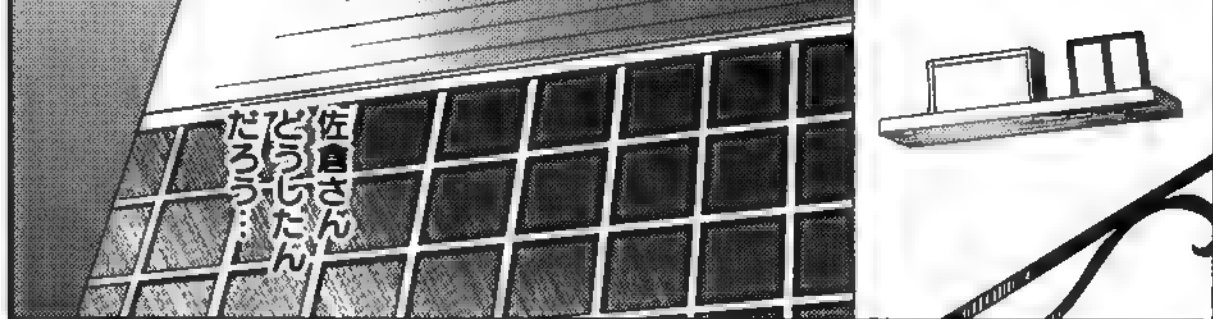
あたしを…
弟子にして
くれないかな?

マミさんは
どこをとっても
あたしの理想
なんだ!

どうしたんだい?
マミ

…なんでも
ないわ
さ、帰りましょう

キュゥべえは
今日のご飯
なにがいい?

元気づけて
あげられるか
わからないけど

何かできること
ないかしら

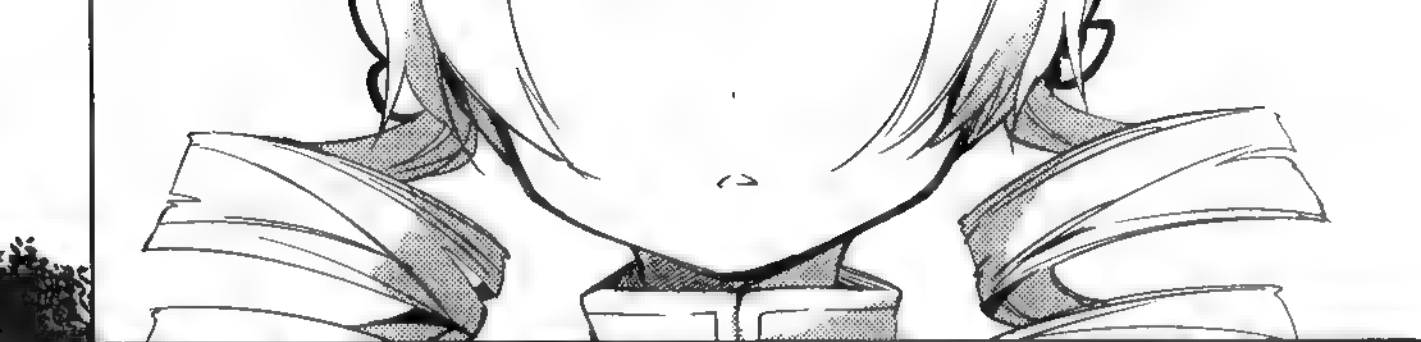
戦いばかり
じゃなくて
気分転換も
必要よね

一緒にお菓子とか…
料理を作るのも
いいかもしれない

くしゅん

…すっかり
寒くなって
きちゃった

温かいもの
一緒に
食べられたら
いいな

これで
あたしと
マミさん
戦う理由は
同じだよね

私達だったら
きっと倒せると
思うわ

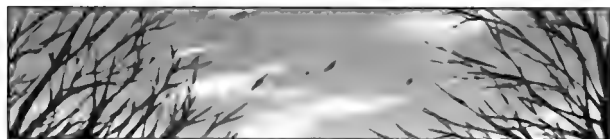
一緒に
この街を
守りましょう

……ううん

今日も頑張らなくちゃね

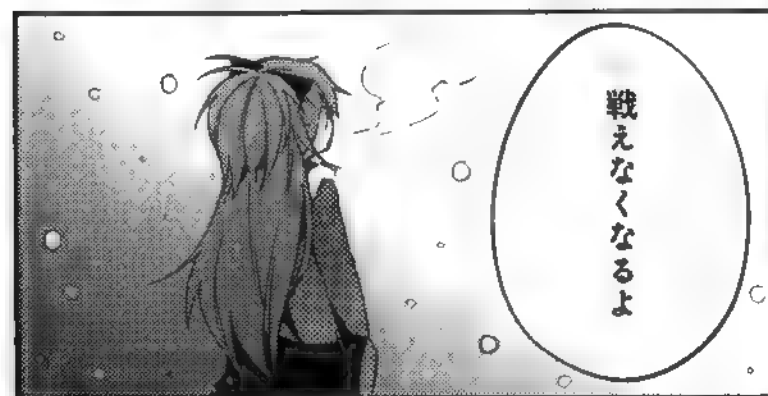
たとえ一人だって

私がこの街を

守らなくちゃいけないんだから…

それでは次のニュースです
昨夜未明——県風見野市の民家で
火災が発生しているとの近隣住民からの通報がありました

遺体で見つかったのは
佐倉――

――現場の状況から
警察は無理心中を図った可能性が高いとみて捜査を続けています
佐倉……さん？

杏子
魔女退治に行かないのかい？
君はしばらくソウルジェムを浄化していないはずだ
魔女を倒してグリーフシードを手に入れないと
戦えなくなるよ

こんな力
もういらない

奇跡の力なんかに
頼ったあたしが
バカだったんだ

父さんの
言った通り
今のあたしは
魔女となにも
変わらないの
かもね

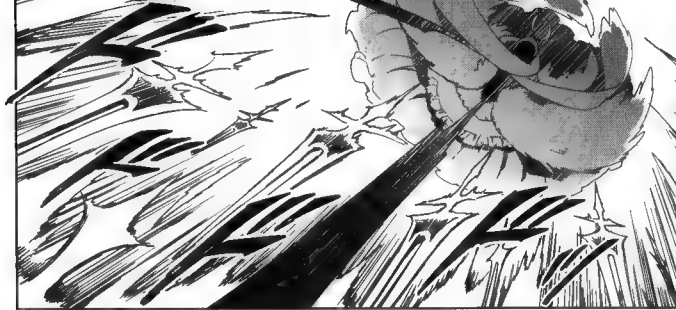
家族みんなを
滅茶苦茶に
しただけで

本当に
大事だったモノ
何一つ守れない
力なんて

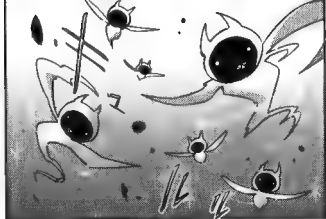
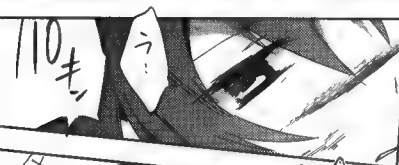
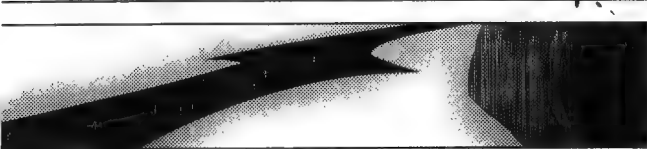
なんの役にも
立ちやしない

キュウべえ

あたしが魔女を
狩るのをやめたら
あたしもみんなと
一緒に死ねる？

冗談に
決まってんじゃん

どうして
魔法の扱い方が
思い出せ
ないんだ?

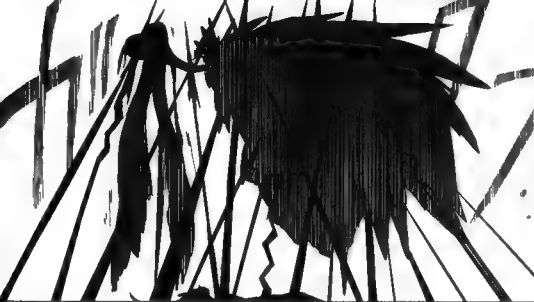
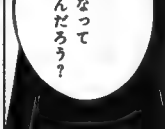
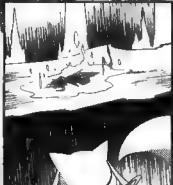
…っ

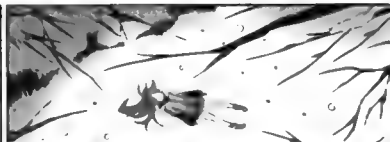
はっ
ガガ
う…
パキン
パキ
パキ
パキ

本部からも
見放された
らしいわよ
あの人

ああ、近頃おかしな教義唱え始めたっていう…
ただの傍迷惑な新興宗教さ
関わらない方がいいよ
おねえちゃんおなかすいた…
だいじょうぶだよ、モモ
おとうさんのはなしはきっとみんなにとどくから
そしたらおなかいっぱいたべられるようになるよ
それまではこれでがまんだよ
りんごだ!
えへへ…こっそりもらってきたんだ
まあ…だれかにいただいたの?
それじゃあおかあさんがきってくるわね

はい
きょうこのぶん
？
これ
ぜんぶだよね
みんなで
わけようよ
あたしひとりで
たべられないよ
いいんだよ
それはおまえが
もらったものなんだから
わたしたちは
いらないんだ
おとうさん
おかえり！
それじゃあ
かあさん
モモ
いこうか
うん！
ええ
……どこへ？

ねえ
おとうさん
おかあさん
モモ
おいてかないでよ
みんな
どこにいくの？
…それは
もちろん

これは
厄介なことに
なったね
杏子
魔法が
使えなくなって
しまったんだろう?
……どうして…

君がいらないと言ったからさ
君の願いが生み出した能力は「幻惑」だ
おそらく君は自らの願いを潜在意識で拒絶してしまったんだろう
……
能力を取り戻さない限り
今後の戦いにおいては大きなハンデとなるだろうね
魔法少女に本来与えられる魔法の属性は
叶えた願いの内容と直結しているからね
……はは
そっか
全部自業自得だ

本当に
救いよう
ないや…
父さんと…
家族みんなを
守りたくて
魔法少女に
なったのに
……こんな
ザマじゃあ
自分すら
満足に
守れやしない
じゃないか

サク

マミ、さ……

すごく冷たい

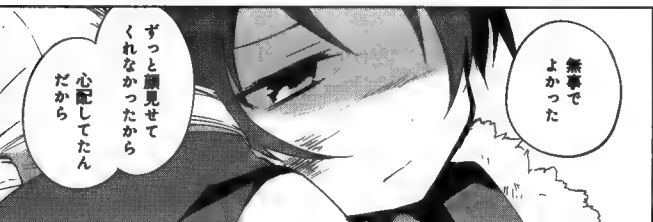
震えてるじゃない

それにひどい怪我だわ

魔女にやられたのね

今 治すから動かないで

……

…ごめん マミさん

あたしはもう あんたとは…

ごめんね

一人で 辛かった でしょ…

先輩 失格だよね

すぐにでも 駆けつけて あげなくちゃ いけなかった のにね…

あなただけでも 生きていて よかった

……ぜんぶ……
全部
あたしの
せいなんだ……
あたしが
みんなを
死なせちゃったんだ

はい
どうぞ

ジンジャーティーにしてみたの

第4話

身体も温まると思うわ

ありがとう
着替えまで借りちゃって…

もう遅いし
今日は
泊まっていって

…ねえ

佐倉さん

これから…どうするの？

私からこんなこと提案するのはお節介にしかならないのかもしれないけど

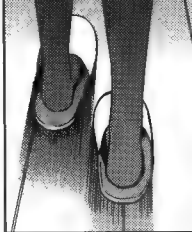
あなたさえよければ事が落ち着くまで私の家にいても…

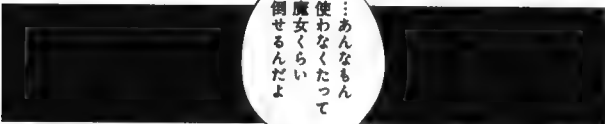
ううん

気持ちはありがたいけど遠慮するよ

そこまで面倒かけるわけにはいかないし

…そう あてがあるならいいんだけど

…………

もう
一人で無茶は
しないでね
戦いの
サポートなら
私にもできるし
これからも
また一緒に
頑張りましょう?
少し遅いけど
簡単な夕食
作るから
待ってて
…うん
タン
ごめんね
マミさん
あたしはね
あんたと一緒には
戦えないんだ

蘭子、戻らないの
今のあなたには酷な言い方だと思うけど
自分の命がかかっているんだから
どんな時でも本気で戦わなければ駄目よ

さっきの相手が使い魔だったから大怪我もなく済んだけど
あなたの幻惑魔法があれば
そもそも傷を負わずに済んだはずでしょう?
どうして使わないの?
…あんなもん使わなくたって魔女くらい倒せるんだよ
…?
待って佐倉さん
倒せればいいってものじゃ…
そうだ丁度いいや
あんたにさ
言っておきたかった事があるんだよ

今後の
戦い方の方針
なんだけどさ…
これからは
魔女も使い魔も
みんな倒すんじゃ
なくて
魔女一本に
絞ろうよ？
グリーフシードを
落としもしない
使い魔を狩った所で
無意味に魔力を
消耗するだけだ
どうしたの
佐倉さ…
街の平和だか
正義の為だか
知らないけど
正直なとこ
これ以上あんたの
道楽に付き合うの
面倒なんだよね
利益を生まない
雑魚なんて
倒すだけ無駄って
もんだろ？
やっぱり
あたしには
性に合わねえって
いうかさぁ…？
…なにを
言ってるの…？

魔女も使い魔も関係ないわ
放っておいたら犠牲が出るのよ!

私達がやらなくちゃ…

だからって

誰もかれも救うなんてできっこないだろう!?

………

そんな奴ら命張って助ける必要あるのかよ?

魔女に取り憑かれようが死にたがるヤツは死んじまうんだ

放っといて使い魔に食わせてグリーフシードの元にしちまえばいいんだよ

事故で家族を失ったのと
自分のせいで家族が死んだのじゃ全然違うだろ？
あんたに言われた通り
あたしは最初から自分のためだけの願いを叶えるべきだったんだよ
そうすれば傷つくのは自分だけで済んだんだ
他人の都合もおかまいなしに身勝手な幸せを押し付けたから
家族みんなをあたしの不幸に巻き込んだんだ…
ざまあないよ全部あたしの魔法が引き起こしたんだ
あんただってハラの中じゃ
当然の結果だろってそう思ってんだろ…？
そんな…こと…

だからあたしは決めたんだよ
もう二度と誰かの幸せのためだとか
他人の命を救うためだとか
そんな理由で魔法は使わない
この力は自分の為だけのものにするんだって…
…もういいだろ
こんな相棒幻滅だろ？
一緒になんか戦えないだろ？
あんたとはもうこれで…

!?
……は…
離せよ!
…駄目よ
今がどんなに辛くたって
あなたはそんな生き方選んじゃいけない
そんなふうに無理して強がったって
余計に苦しいだけだってわかるのに
一人にさせられるわけないじゃない

今のあなたを
放っておく
ことなんて
私には絶対
できない
…だったら
ギャ
あんたを
ぶっ飛ばして
でも行く

……そう
話し合いで
済ませては
くれないのね
本当に
どこまでも
手のかかる
後輩ね！

センパイっ！
悪かったね

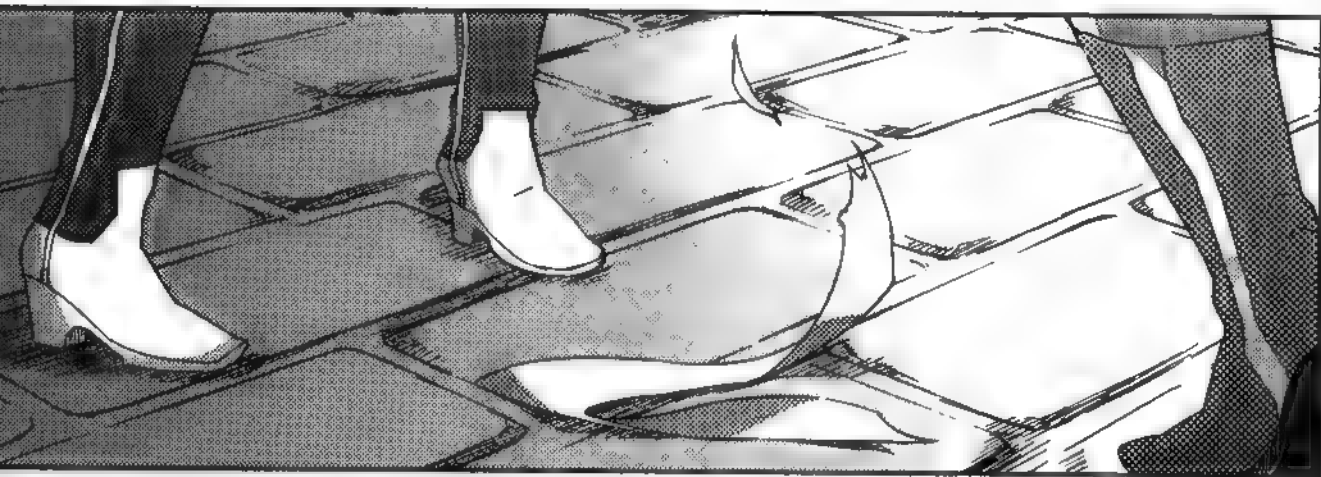
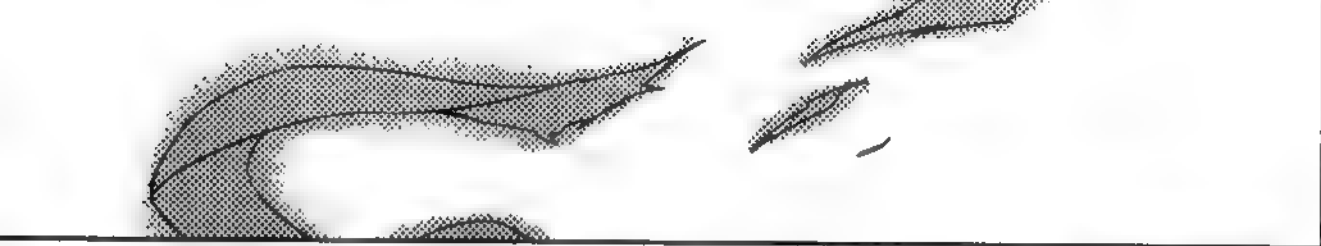
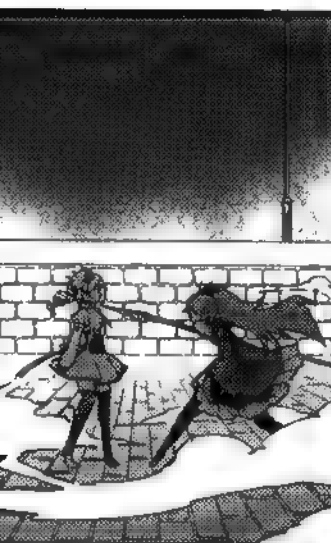
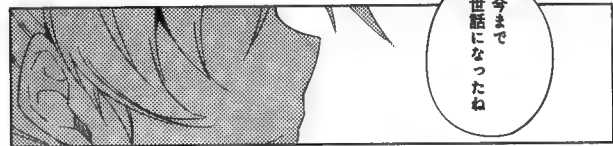
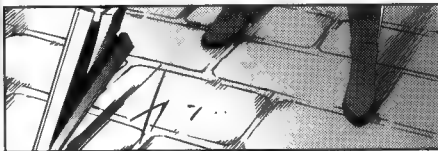
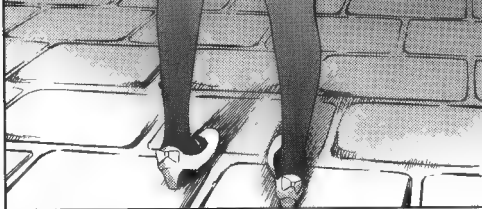
余裕で見切れるんだよ！
あんたの拘束魔法なんか

…そういう
あなたこそ
禍雲に
正面から
向かうなって
散々
言い聞かせたのに
守らないのね
チッ

目くらまし…

どこ
狙ってんのさ！
だからあんたは
甘いんだ
本気で殺す
つもりのない
砲撃なんか
避けるまでも
ないんだよ！

これ以上続けるつもりなら
今度は本気で取らせてもらうよ
あんたとはもう覚悟が違うんだ

佐倉さん

あなたは私にとって
初めて志を共に出来た魔法少女だった
他の魔法少女とは違うって信じてた
本当にそれでいいの
あなたは孤独に耐えられるの

…ダメだなあ
どうして
いつも
こうなっちゃう
のかな
また…
ひとりぼっちに
もどっちゃった

あんたなら
きっといい仲間が
見つかるさ

―
――さん

鹿目さん？

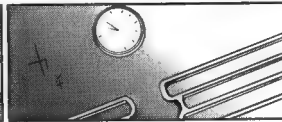
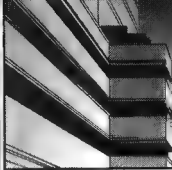
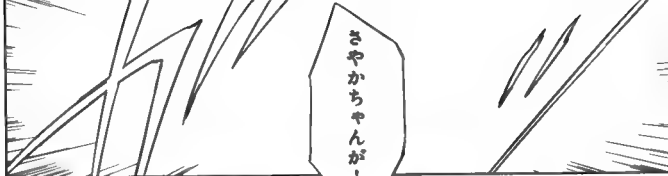
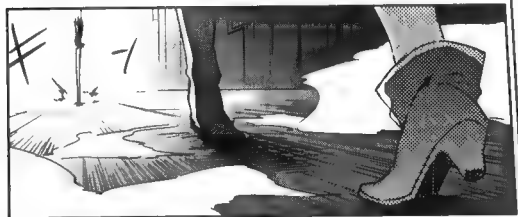
ごめんなさい
気付かなくて

どうしたの

あっ

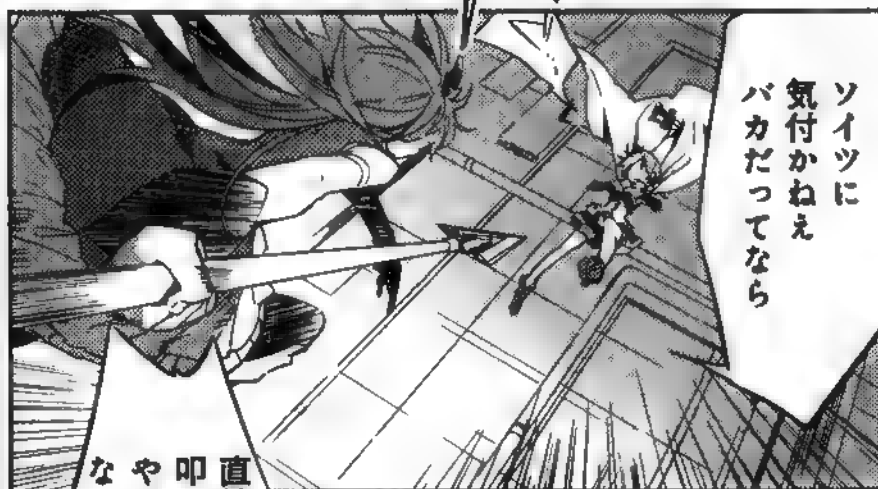
ごめんなさい！
急に呼びかけたりして…

えっと…

大変なんです！

さやかちゃんが！
っ
…ふーん

ルーキーにしちゃあ結構やるじゃん
アンタご自慢の先輩とやらの指導かい？
ふん…マミさんはねあんたなんかとは違うのよ
自分の損得勘定ばっかりで
他人の命がどうなろうと構いもしない
あんた達みたいな魔法少女に…

あたし達が
負けるわけには
いかないんだ！

…フン

他人の為に
戦ったって
一文の得にも
なりゃしない
ってのに
ソイツに
気付かねえ
バカだってなら
直接体に
叩き込んで
やるしか
ないよねえ!?

あ・・
お久しぶりね
間にあった・・
その子は私の
大事な後輩なの
妙なこと
吹き込むのは
やめて貰える
かしら

チャ

佐倉さん

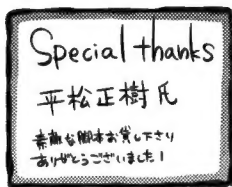
他人の縄張りに踏み入るなんて

行儀がなっていないんじゃなくて？

…なぁんだ

てっきりくたばったもんかと思ってたよ

・・・・マミ先輩？

To be continued...

スピンオフ第1巻
ここまで読んで下さって
ありがとうございます。
まさかのまるごと1冊
マミと杏子の話でした。
次巻もお会いできれば光栄です。

ほら…せっかくなんだから
最後くらい元気よく
「ロッソ・ファンタズマー!!」って
叫びましょう!

ハイ!!

こわがらないで…!

キラァァァアァ

期待の目

ごめんマミさん
あんたとはもう
やってけない…

KIRARA MENU 703

魔法少女まどか☆マギカ㊤
~The different story~

２０１２年　10月２７日　第１刷発行

原案/Magica Quartet
著者　漫画/ハノカゲ

発行者　伊東朋視
発行所　株式会社 芳文社
〒112－8580　東京都文京区後楽1－2－12
電話 ： 03－3815－1521（代表）
振替 ： 00110－8－174056
装　丁　染谷洋平（BALCOLONY.）
印刷所　凸版印刷株式会社
製本所　株式会社三森製本所

Printed in Japan ２０１２

ISBN978-4-8322-4203-6